

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。

研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

臍頭十二指腸切除後創部管理に対する ciNPT(closed incision Negative Pressure Therapy)の有用性

1. 研究の対象および研究対象期間

昭和医科大学藤が丘病院で、臍頭十二指腸切除術を受けた患者さんを対象とします。

研究対象期間：2020年1月から2024年12月まで

2. 研究目的・方法

消化器外科手術後の手術創の感染は、その処置に関連した疼痛や苦痛を伴いさらに入院期間の延長や医療経済的にも問題となります。最新のガイドラインでは、腹部手術の手術創感染を予防する目的で閉鎖切開陰圧療法（ciNPT(closed incision Negative Pressure Therapy)）を使用することが提案されています。特に肝胆膵領域の手術後の創感染を低下させることが確認されています。本研究は、肝胆膵領域の手術の中で、特に臍頭十二指腸切除術後の創部管理において ciNPT が表層切開創の手術部位感染に与える影響を検討すること目的としています。

本研究は学術研究であり、昭和医科大学藤が丘病院に入院中の患者さんのデータを利用します。患者さんのデータは病院内の診療録管理室にて「4. 研究に用いる試料・情報の種類」に記載した情報を取得します。取得した情報は、本研究者間のみ情報を共有します。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2028年3月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

患者さんの診療録から以下の情報を収集します。研究対象者背景：年齢、性別、身長・体重、原疾患、血液検査所見、術前化学療法の有無と詳細、併存疾患の有無と詳細（糖尿病、ステロイド治療歴、透析施行歴など）、手術関連因子（手術術式、手術時間、出血量、輸血の有無等）、術後手術部位感染発生の有無とその詳細、合併症、病理組織学的検査、再発の有無、再発時期、再発形式、再発に対する治療、転帰などについての情報です。

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

6. 研究組織

研究責任者：

昭和医科大学医学部外科学講座消化器・一般外科学部門 教授（員外） 松尾 憲一
藤が丘病院消化器・一般外科

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

昭和医科大学藤が丘病院消化器・一般外科

担当者：松尾 憲一

〒227-8501 神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30

TEL：045-971-1151（平日 8:30～17:00）